

日本鐵鋼協會記事

評議員會 大正14年3月4日午後4時半より本會事務所に於て評議員會を開き左記事項に就きて協議せり。

1. 製鐵鋼業振興に關する意見書提出の件 左記は原案修正の上製鐵鋼調査會長高橋是清殿外同會委員並に關係諸方面へ提出することに決議せり。其意見書は別記の如し。

2. 入退會者に關する件

3. 其他會務に關する件等を附議せり。

當日出席者は 河村驍、今泉嘉一郎、香村小録、俵國一、種子田右八郎、川上義弘、杉村伊兵衛、島岡亮太郎、内田徳郎、水谷叔彦、大河内正敏、渡邊三郎、江藤捨三等なり。

製鐵鋼業振興ニ關スル意見書

仄聞スル所ニ依レハ貴調査會ニ於テ慎重ニ御調査ノ結果本邦製鐵業ハ方法宜シキヲ得ハ經濟的ニ成立シ得ルモノトノ結論ニ達セラレタリト、本會ニ於テ豫メ研究調査セン結果モ亦同様ニシテ設備ノ改良ヲ施シ經營其ノ宜シキヲ得ハ確カニ將來本邦製鐵業ヲ振興シ自給自足ノ實ヲ舉クル事ヲ得ヘキヲ疑ハス、茲ニ從來世間往々製鐵國策ニ就テ抱カレタル疑懼ノ念ヲ一掃シテ將來ノ國策樹立ニ向ツテ歩武ヲ進ムル事ヲ得ルニ至リタルハ邦家ノ爲メ洵ニ慶賀ニ堪エサル所ナリ。

本邦製鐵業カ經濟的ニ成立シ得ルト云フ根底ノ上ニ其振興方策ヲ講シ之カ實行ニ進マントスルニ當リ聊カ本會ノ意見ヲ陳述シテ御參考ニ供セントス。

惟フニ製鐵鋼業ハ之ヲ大規模ノ經營下ニ置クノ有利ナル事ハ世已ニ定評アリ從來朝野ノ識者ニヨリテ屢々唱導セラレタル合同經營ハ製鐵振興策トシテ最モ適切ナル方策ニシテ、本邦ノ如キ他ニ優越セル利便ヲ有セサル國ニ於テハ國內協同ノ一致努力ヲ以テ外國ニ對抗スル事ノ最モ緊要事タルハ多言ヲ要セサル所ナリ故ニ貴調査會ニ於テモ結局合同經營ヲ最終ノ理想トシテ方策ヲ樹立セラルルニ至ル可キヲ信シテ疑ハス。

唯タ合同經營カ一氣呵成圓滿完全ニ成立スレハ洵ニ結構ナリト雖モ翻テ考フレハ本邦現在ノ各製鐵所ハ其成立ノ歴史上各々其工場ヲ異ニシ各工場ノ状態ハ極メテ複雑ニシテ彼ノ米國ユー・エス・スチール・コーポレーション成立當時ノ如ク簡易ナル能ハス故ニ此際徒ラニ成立ヲ急キ爲メニ後日ニ至リ故障續出シテ整理ニ困難ヲ來タシ或ハ經營ノ進行ヲ障害スルカ如キコトアリテハ悔ユルトモ及ハサルノ恐アルヲ以テ再應慎重ニ調査考究シテ然ル後圓滑整然タル合同ノ效果ヲ收ムルニ努メサルヘカラス。

故ニ今回貴調査會ニ於テ到達セラレタル結論ニ基キ此際左ノ如キ機關ヲ設置シテ一般的ニ原料ノ調査技術ノ研究並ニ各製鐵所ノ長短得失ヲ仔細ニ考究シ又當面ノ問題トシテ各製鐵所ノ聯絡ヲ圖リ目下

ノ經營ヲ可及の有利ナラシメ以テ徐ロニ合同經營ノ歩武ヲ進ムルコト最モ適當ナリト信ス。

第一 製鐵業共同研究機關

本機關ハ官民有識者ヲ以テ組織シ左ノ事業ヲ爲ス

- A. 内外利用シ得ヘキ製鐵原料ノ調査
- B. 貧鑛、砂鑛並ニ硫化鑛ノ利用方法ノ研究
- C. 本邦ニ適切ナル製鐵技術並ニ設備ノ研究
- D. 官民製鐵所經營組織改善ニ關スル研究
- E. 作業能率増進ノ研究

以上ハ現在官民製鐵所ノ研究調査機關ヲ統一シ全般ヲ通シテ之レヲ行フコト

第二 共同ノ原料購買及製品販賣機關

本機關ハ官民製鐵所ノ代表者並ニ官民有識者ヲ以テ組織シ左ノ事業ヲ爲ス

- A. 外國產原料ノ共同購買並ニ其ノ配給
- B. 製品ノ共同販賣並ニ其ノ按配
- C. 輸出入鐵鋼ノ調査並ニ其調節
- D. 製產品目ノ分擔割付並ニ生産割當或ハ製産制限

本機關ニ於テハ第一機關ト協調ヲ保チ各製鐵所ノ設備改良費ヲ調査シ之ニ要スル低利資金融通ノ斡旋ヲナスコトアルヘシ

以上二機關ハ之レヲ合併シテ一體トナシ兩者ノ聯絡協調ヲ保タシムルモ亦可ナリ而シテ以上官民製鐵所ノ聯絡協調ヲ爲サンカ爲ニハ先ツ官立製鐵所ノ法規ヲ改正シ民間經營ト同一經路ノ營業決算ヲナサシムル事、官民工場及研究所ヲ本機關ノ調査ニ對シ絶對的開放ノ協定ヲナサシムル事、並ニ本機關ノ經費ハ各工場ノ出資手數料ニヨルコト勿論ナルモ其ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルタメ一定ノ補助金額ヲ年々政府ヨリ本機關ニ補給スルノ要アルヘシ。

斯クノ如クシテ各製鐵所ノ事情カ一管理ノ下ニ明瞭ナルニ至ラハ自ラ無益ノ競争ヲ避ケ共同一致シテ外國ニ對抗シ得共存共榮ノ基礎固マリ進シテ合同遂行ノ必要ナル場合ハ最モ圓滿ナル解決ヲ見ルニ至ルヘシ。

次ニ本邦製鐵業ノ國策カ前述ノ如ク確定シテ事業振興ノ基礎定マリ自給自足ノ實ヲ舉クルノミナラス進シテハ東亞各地ニ販路ヲ擴張スル如キハ終局ノ目的トナス可キ處ナルモ之ニ達スル徑路トシテハ現在ノ各製鐵所ノ内改良スヘキモノハ之ヲ改良シ廢棄スヘキモノハ之ヲ廢棄シ着々改善ノ途ヲ講スルノ必要アリ而シテ本邦現在ノ製鐵業カ其ノ改善ノ成果ヲ舉クル迄ハ是非共之ヲ保護扶育セサル可カラズ即チ根本國策ノ樹立ト共ニ應急策ノ必ス之ニ伴ハサル可カラサルヲ信スルモノナリ故ニ應急策モ亦國策ノ一部トシテ考慮シ現下ニ處スルノ途ヲ講セサル可カラズ。

應急策トシテ直チニ實施スヘキモノハ左ノ二項ナリ。

- 一、鐵鋼ニ對スル輸入稅ノ一時的増徴
- 二、製鐵原料並ニ製品ニ對スル鐵道運賃ノ輕減

以上二項ハ今回製鐵國策ノ決定ニ伴ヒ速カニ之ヲ斷行シ以テ事業ノ發展助長ニ努ムルコト最モ緊要ナリト信ス

以上製鐵鋼業振興ニ關スル意見具申供御參考候也

大正十四年三月五月

社團法人日本鐵鋼協會代表者

會長理事 河村 驥
 理事 依國 一
 理事 香村 小 錄
 理事 今泉 嘉 一 郎
 理事 鹽田 泰 介

編輯會 大正十四年三月四日午後四時半より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第十一年第四號の原稿を選定せり、當日出席者は川上義弘、杉村伊兵衛、田中清治、鹽澤正一、三島徳七等なり。

新入會者

三菱合資會社經理
 大阪市日本鑄鋼所取締役社長
 大阪市足立鐵工所社長
 九州帝國大學冶金科助教授
 戶畑市戶畑鑄物會社
 旅順工科大学々生
 京都帝國大學工學部探鑛冶金科學生
 東京帝國大學工學部冶金科學生

贊助會員
 正員
 同
 准員
 同
 同
 同
 同

木村 久壽彌太
 奥村 千吉
 足立 輝雄
 佐藤 恒義
 鍋山 貞直
 白水 孝一
 小林 誠一
 仁井 辰造

紹介者

(河村 驥、依國 一)
 (石澤 命春、大矢 喜兵)
 (後藤 正治、大矢 喜兵)
 (田邊 唯司)
 (網谷 俊平)
 (大矢 喜兵)
 (川上 義弘)
 (川上 義弘)

退會者

本郷區西片町10〜19工學士 正員 大野 胖
 日光電氣精鋼所 工學士 同 高柳 貫一
 特許局審判部 工學士 同 佐藤 耕夫

大宮鐵道官會 工學士 正員 中村 健吾
 日本鋼管株式會社 同 河田 重
 大阪市北區同心町二丁目 准員 秋山 隆太郎
 大市阪西區高麗橋二丁目 同 脇本 偉一

圖書寄贈

東京地質調査第一回報告
 南滿洲鐵道株式會社地質調査所業務概要
 南滿洲鑛產地一覽
 滿洲、蒙古、西比利亞、支那鑛產物分析表
 地質調査所報告 第九十一號
 同 第九十二號
 青森縣大釋迦油田地質及地形圖說明書
 山形縣新庄油田地質及地形圖說明書
 秋田縣能代油田地質及地形圖說明書
 秋田縣鷹巣油田地質及地形圖說明書
 新潟縣村上油田地質及地形圖說明書

寄贈者

復興局 建築部
 滿鐵地質調査所
 同上
 同上
 農商務省地質調査所
 同上
 同上
 同上
 同上
 同上